

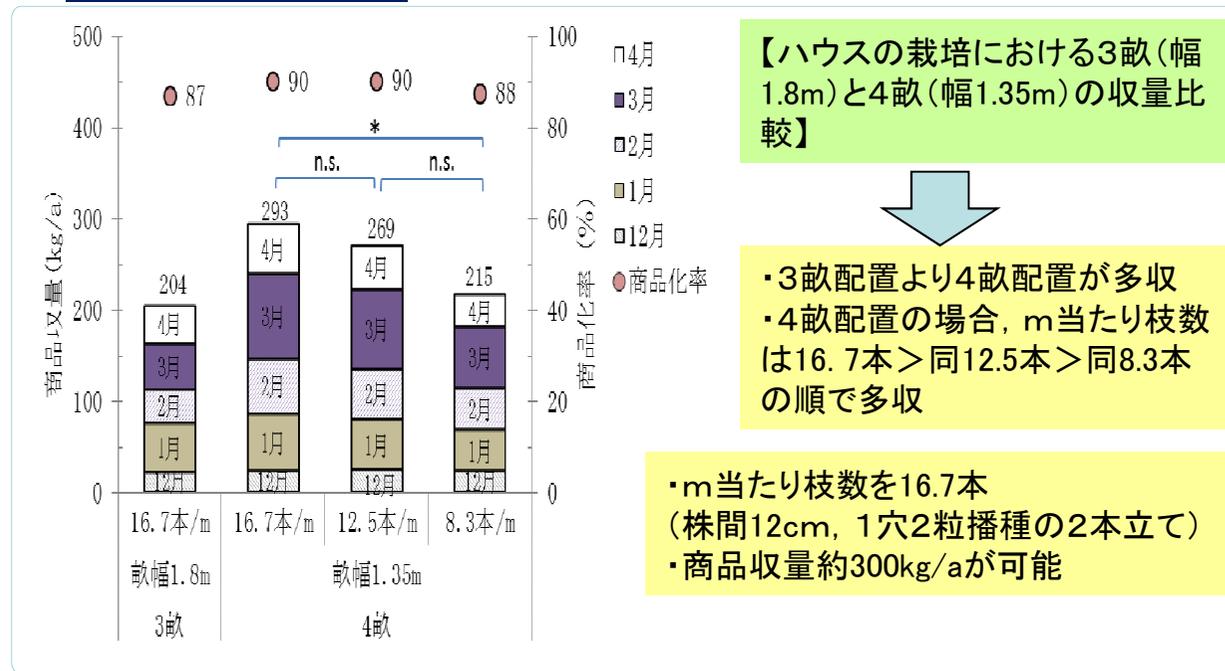
スナップエンドウのハウス長期どりにおける作式改善による増収対策技術

間口6mのハウスに4畝(畝幅1.35m)配列し、1m当たり枝数を16.7本にすることで、商品収量約300kg/aが可能。

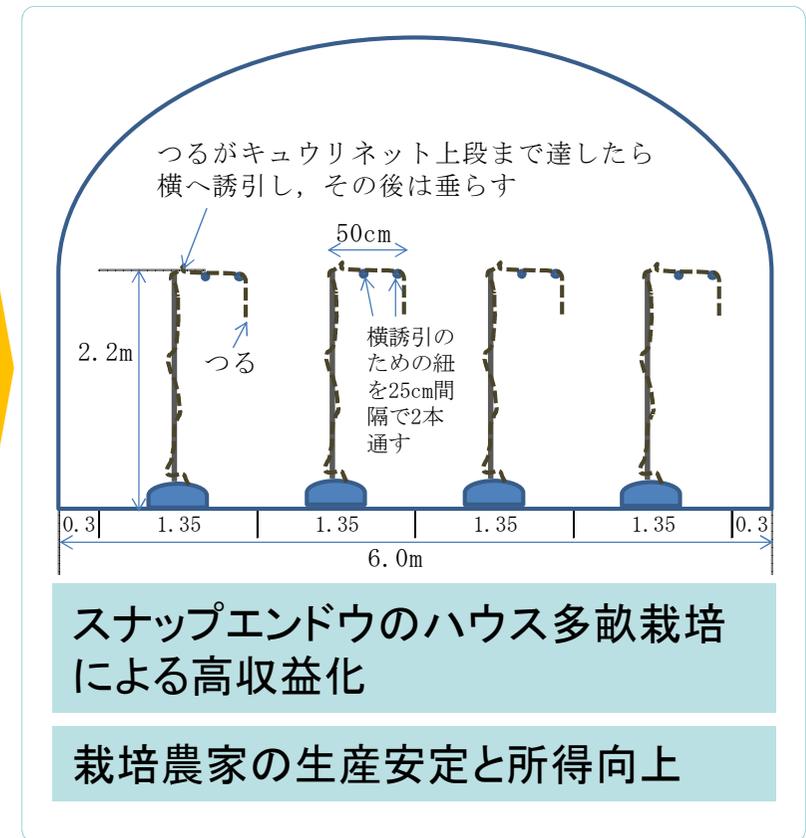
背景・目的

- ・本県のスナップエンドウの生産量は全国1位で、消費地からはさらなる生産拡大の要望
- ・作型のほとんどは露地栽培で経営規模が小さく、新たな土地取得による規模拡大が困難
- ・所得向上を目指すには施設化による高収益化が必要

成果の内容



導入メリット



期待される効果

スナップエンドウのハウス栽培による生産安定

普及対象・範囲
スナップエンドウ栽培農家